

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
専門学校 水戸 ビューティカレッジ	平成15年3月25日	八文字 典昭	〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-14-14 (電話) 029-228-2188			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人八文字学園	昭和57年4月1日	八文字 蓉子	〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-11-18 (電話) 029-221-8771			
目 的	トータルビューティを基本理念として、エステ、メイク、ネイルの仕事に就くために必要な技術、知識を習得し、各種検定や業務に即した実習を通して、即戦力の人材を育成する。					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
衛生	衛生専門 課程	総合ビューティ学科	2年(昼)	2160単位時間 (又は単位)	平成17年文部科学大臣告示第176号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	936単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1224単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	39人	13人	10人	23人		
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日 			成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ■成績表(有・無) ■成績評価の基準・方法について 期末試験による点数評価 	
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■学年始め：4月10日 ■夏季：7月23日～8月24日 ■冬季：12月17日～1月10日 ■学年末：3月9日 			卒業・進級条件	規定の履修時間2160時間を全て履修する事。	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制(有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 学生、保護者との三者面談。 			課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 フェイスペイント、ネイルサービス等のボランティア ■サークル活動(有・無) 	
主な就職先	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界 エステサロン、ネイルサロン、美容部員 ■就職率 100% ■卒業者に占める就職者の割合 100% <small>(平成27年度卒業者に関する平成28年5月時点の情報)</small>			主な資格・検定	エステティシャン検定、ネイル検定 メイク検定、色彩検定、 文書処理検定、社会人常識マナー検定	
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> ■中途退学者 2名 ■中途退学率 5.1% 平成27年4月1日在学者 39名(平成27年4月入学者を含む) 平成28年3月31日在学者 37名(平成28年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由。 ■中退防止のための取組 学生本人と担任等の2者面談を随時行う。 					
ホームページ	URL: http://www.mito.ac.jp					

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

就業先となる美容業界から、職業に必要とされる実践的な知識及び技術の修得が求められるため、各企業・業界団体等と連携し、実習授業に対し、組織的な教育を行うことにより、実務に即した知識や技術の修得が可能となり、即戦力の人材育成となる専修学校専門課程における職業教育の向上につながる。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年 3 月 31 日現在

名 前	所 属
赤上 喜久子	茨城県美容業生活衛生同業組合 監事
堤 圭司	堤理美容商事株式会社 代表取締役社長
今井 孝	タカパルメント (株) 北関東理美容営業所 所長
松井 忠重	(株) ティー・エム・プロジェクト 代表取締役
八文字 典昭	水戸ビューティカレッジ 学校長
谷津 久美子	水戸ビューティカレッジ 美容学科長
藤枝 恵子	水戸ビューティカレッジ 総合ビューティ学科長

(開催日時)

第1回 平成 27 年 10 月 14 日 14:00 ~ 16:00 第2回 平成 28 年 3 月 24 日 14:00 ~ 16:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業と連携した実習授業を通じ、就業先に必要とされる知識及び技術力の向上や適切な判断力、コミュニケーション力を養成し、専門課程における職業教育の向上につなげる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
メイクアップ I	メイクアップ概論、顔の形態学、色彩、道具、スキンケア、ベースメイク、アイメイク、アイブロウメイク、リップメイク、ブラッシュオンメイク等を相モデル形式で実習を行い、基礎知識・技術を習得する。	(株) ふおれすと
ネイルケア I	ネイルケア (カットスタイルからキューティクルクリーンの技術)、カラーリング (エナメルアート)、フラットアート、リペア (チップ及びラップ) 等の技術を習得する。	(有) ラルジュ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

企業への計画的な研修参加により、教科担当教員の職業に関連した実務に関する知識、技術の修得が図られ、担当教員の指導力向上による実践的な実習授業及び学生の技術向上につなげる。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 3 月 31 日現在

名 前	所 属
阿久津 佑介	フォーリア 店長 (卒業生)
笹目 千尋	アクセスムーン 石岡店 店長 (卒業生)
市村 一志	(保護者)
小林 一弘	(保護者)
井澤 卓司	(株) 水戸警備保障 代表取締役 (地域住民)
大部 昇	スカイブルー旅行センター (株) 代表取締役 (地域住民)
赤上 喜久子	茨城県美容業生活衛生同業組合 監事
今井 孝	タカパルメント (株) 北関東理美容営業所 所長
堤 圭司	(株) 堤理美容商事 代表取締役
松井 忠重	(株) ティー・エム・プロジェクト 代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法) URL: www.mito.ac.jp/disclosure/index.html

5. 情報提供

(情報提供の方法) URL: www.mito.ac.jp/disclosure/index.html

授業科目等の概要

(衛生専門課程 総合ビューティ学科) 平成 27 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			メイクアップ I	メイクアップ概論、顔の形態学、色彩、道具、スキンケア、ベースメイク、アイメイク、アイブロウメイク、リップメイク、フラッシュオンメイク等を相モデル形式で実習を行い、基礎知識・技術を習得する。	1 通	180				○
○			メイクアップ II	イメージメイク、ブライダルメイク、映像メイク、舞台メイク等、ヘアスタイルからメイクまで相モデル形式で実習を行い、応用メイクの知識・技術を習得する。	1 通	180				○
○			ネイルケア I	ネイルケア（カットスタイルからキューティクルクリーンの技術）、カラーリング（エナメルアート）、フラットアート、リペア（チップ及びラップ）等の技術を習得する。	1 通	180				○
○			ネイルケア II	アクリルネイル（インクステンション、エンボスアート、3Dアート）、ジェルネイル（フラットネイル）、等の技術を習得し、学習成果として、卒業作品を制作する。作品としてアクリル、ジェルを使いネイルチップを作成し、校内コンテストで発表する。	1 通	180				○
○			エステティック技術 I	ボディエステティック、フェイシャルエステティック、脱毛実習の基礎技術、接客対応、ボディリトリートメントテクニックを学習する。	1 通	144				○
○			エステティック技術 II	ボディエステティック、フェイシャルエステティック、エステティック機器を利用した応用テクニックカウンセリング実習を学び、模擬サロンを開業し、学生をお客様として、受付から施術までのトレーニングを行う。	1 通	144				○
○			美容総合技術 I	まとめ髪、アップスタイルの基礎を学びながら編込みの手順を理解させ、編込みスタイルの応用をより正確に学習する。又アップスタイルに必要な器具をより正確に伝える様々デモを見ながら学習する。	1 通	36				○
○			美容総合技術 II	着付けを行う時の大事な身だしなみ、マナー等、注意する点を学びながら、着付けと帯結びの手順をデモで見せながら、相モデルで学習する。	1 通	36				○
○			衛生管理	サロン衛生、消毒学を通して、エステティックに関わる化学的消毒法、物理的消毒法、感染症対策などについて学習する。	1 通	72		○		
○			美容保健	皮膚科学、解剖生理学、心身生理学を通じてのエステティックに関しての肌と体の知識を学習する。	1 通	36		○		

○			美容化学	基礎知識として、化学（物質の構造、溶液とコロイド、物質の変化、基礎的な有機化合物）、化粧品化学（化粧品と法規、化粧品と原料、基礎化粧品、メイクアップ用化粧品、頭毛に使用する化粧品、その他の化粧品）について学習する。	1通	36		○		
○			美容文化論Ⅰ	日本の縄文時代、古代、中世、近世、近代、現代、西洋の古代エジプト、ギリシャ、ローマ、中世、近代、現代のそれぞれのファッション文化史を学び、「美容業」の歴史を理解させる。	1通	72		○		
○			美容文化論Ⅱ	和装や洋装等の礼装の種類を学ぶ。トータルファッションの原理を学び、それにもなう色彩のコーディネートについても学習する。	1通	72		○		
○			カラーコーディネートⅠ	色の見える仕組み、物を照らす、色の分類、混色、色の見え方、色の感情、色の表示と色名、配色、色彩計画についての基礎を学び、関連資格の取得についても目標とする。	1通	36		○		
○			カラーコーディネートⅡ	色の見える仕組み、物を照らす、色の分類、混色、色の見え方、色の感情、色の表示と色名、配色、色彩計画についての応用を学び、関連資格の上級取得についても目標とする。	1通	36		○		
○			関係法規	エステティックに関係する法の基礎知識、エステティック業界と自主基準について学習する。	1通	36		○		
○			ビジネス実務Ⅰ	ビジネス社会で社内外から信頼を得て、良い人間関係を築くための必要とされる社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力等を学習する。	1通	72		○		
○			ビジネス実務Ⅱ	社内、社外等のビジネス文書、職場のマナー、接遇マナー、電話対応、交際業務等社会人として必要な一般的な常識について学習する。	1通	72		○		
○			美容運営管理Ⅰ	接客について（仕事をすること、接客の役割と基本、接客の計画、実践、接客の場で起こる問題）及び経営戦略、マーケティングについて学習する。	1通	72		○		
○			美容運営管理Ⅱ	経営管理について（経営の視点、資金の管理）、労務管理について（労務管理とは何か、働くあなたの姿）及び健康管理について学習する。	1通	72		○		
○			簿記会計Ⅰ	社会的に大きな役割を果たしている簿記の知識と技術について基礎的な内容を学び、企業の経営活動に伴う財産の変動等を計数的にとらえる。	1通	36		○		
○			簿記会計Ⅱ	簿記の知識と技術を学ぶにあたり、具体的な問題演習を通し、知識を確実にすることを目標とする。	1通	36		○		
○			コンピュータ実習Ⅰ	ワープロソフトを使用し、基礎的なビジネス文書の作成から、イラスト、写真等と使用したポスター作成、また、簡単なホームページの作成等を学習する。	1通	72				○
○			コンピュータ実習Ⅱ	表計算ソフトを使用し、基本的な四則演算から、関数を用いた演算、また、グラフ作成、簡単な財務諸表（損益計算書、貸借対照表）の作成を学習する。	1通	72				○

○			日本文化Ⅰ	それぞれの和服の特徴と帯の名称、着付けに必要な小物の名称を学習する。着物を着る目的と扱い方を学習する。着付けを正しく見せるための下準備を学習する。	1通	36					○
○			日本文化Ⅱ	それぞれの着物と帯に合ったたたみ方を学習する。体系に合わせた着付けと帯結びの手順を相モデルで学習する。着付けを行う時の身だしなみ、マナー等注意する点を学習する。	1通	36					○
○			社会福祉	これからの社会において、人の幸せを高め、豊かな心身の状況を作り出すための活動に必要な知識として、私たちの生活と社会福祉、社会保障制度の概要、社会福祉事業の仕組みと担い手、社会福祉の分野別施策、社会福祉専門従事者について学習する。	1通	36			○		
○			ビジネス実務演習	社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力を習得することを目的に、実践的な問題演習を通して、知識を確実にしていくことを目標とする。	1通	36			○		
○			就職関連知識	就職への準備を目的として、特に筆記試験対策としての一般常識（国語、社会、数学を中心とする）について学習する。	1通	36			○		
合計					29 科目		2160 単位時間（ 単位）				